

2026 春闘情報 ダイジェスト

～「ハートフルカンパニー」の実現をめざして!～

No.9



2026年3月19日
東海旅客鉄道労働組合
<https://www.jrtu.jp>



Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

第7回 団体交渉

【速報】2026春闘 妥結!

2026春闘を「ONEチーム」で闘い抜いたすべての組合員・ご家族に感謝申し上げます

1. 月例賃金総額19,000円(5.6%)の改善

(1) 標準乗数「4」とする定期昇給の年度初完全実施

(2) 総合生活改善 14,200円(4.2%)

うち純ペア 10,500円(3.1%) 35歳ポイント

諸手当改善 職務手当見直し 組合員平均 3,700円(1.1%)

2. 夏季手当 3.1箇月分 6月30日以降準備でき次第

3月19日、2026春季生活闘争の第7回団体交渉を開催し、会社回答を引き出した。2026春季生活闘争では、未来を見据えた「人財への投資」を掲げ、これまで以上に賃金面での前進を基軸に置いた労働条件向上に取り組んできた。

定期昇給について、標準乗数4とする定期昇給の年度初完全実施を確認した。

純ペアについて、JR東海ユニオン発足以来最高額となる「基本給10,500円引き上げ」を獲得した。直近1年間の物価上昇を上回るとともに、生産性向上分も加味した賃金引き上げにより、会社が「人財への投資」として応えたものと受け止めている。

夏季手当については、上期から続いてきた大阪・関西万博輸送の集大成、年末年始輸送の完遂をはじめ、この半期における組合員の奮闘と成果に対し、夏季手当として過去最高支給月数となる、「3.1箇月」満額回答を得た。また、期末手当の支給月数については、引き続き社員が安心して意欲高く働くことができる賃金の水準を維持していくとの見解を引き出した。これは、組合員の将来不安の払拭につながる方向性を示したものと受け止めている。

さらに、諸手当等の改善として、長年にわたり多くの組合員から改善要望が寄せられていた職務手当の支給金額の引き上げや支給対象の拡大を実現したほか、賃金改定に伴い、日直・宿直手当が行政通達に基づき引き上げられた。

また、回答時議論のなかで、リロクラブにおけるTDR・USJの利用回数について、各4回から計8回に変更することを確認した。

以上により、2026年度新賃金における改善額・率は、19,000円(5.6%)となる。

いずれも、この間の組合員の献身的な取り組みと努力や想いに会社が真摯に向き合い、応えた内容であることを確認し、11時40分に妥結した。